

平成 27 年度 九州がんプロ国際交流企画  
アサン医療センター・アサンがんセンター（ソウル）派遣研修  
趣意説明書

平成 27 年 9 月 28 日

九州大学医学研究院 九州連携臨床腫瘍学講座

教授 馬場 英司

（実務担当者）助教 在田 修二

## 1 目的・背景

韓国のがん医療を実地に見学し、日韓の実地臨床事情の差異、および、臨床研究の発展する素地と臨床研究を行うための体制について議論する。

本計画は、九州がんプロによる「がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン」に策定された達成目標「海外医療機関等との連携体制の確立」およびこの目標に対する評価指標「海外医療機関への研修派遣」に基づき、がんプロ大学院生の教育および担当教員の FD を兼ねて行う。

## 2 旧年度実績

### (ア) 平成 25 年度訪問および関連実績

平成 25 年 11 月 4 日～5 日、9 名の参加者でアサン医療センターを訪問した。

平成 26 年 2 月、参加者の報告書を元に実施報告書を編集・発行した。

第 12 回日本臨床腫瘍学会学術集会（7 月）および第 52 回日本癌治療学会学術集会（8 月）にて、参加大学院生により研修内容を報告した。

### (イ) 平成 26 年度訪問および関連実績

平成 26 年 11 月 3 日～4 日、9 名の参加者で同施設を訪問した。

平成 27 年 2 月、参加者の報告書を元に実施報告書を編集・発行した。

## 3 引受先

Yoon-Koo Kang 先生

アサン医療センター・アサンがんセンター 腫瘍内科（ウルサン医科大学教授を兼任）

### (ア) 主な業績

ML17032 試験 -- Ann Oncol 20:666-673 (2009).

ToGA 試験 -- Lancet 376:687-697 (2010).

AVAGAST 試験 -- J Clin Oncol 29:3968-3976 (2011).

EXPAND 試験 -- Lancet Oncol 14:490-499 (2013).

SOS 試験 -- Ann Oncol. 2015 Jul 27.

(イ) 施設概況について (2012 年)

2,680 床、平均外来者数 10,449 人/日

医師数 1,580 人、臨床研究センタースタッフ数 70 人、第 1 相試験専用病床数 39 床、

新規臨床試験数 1,014 件/年 (うち国際共同研究 129 件)、

定期 IRB 検討件数 9 件/月 (毎週月曜日に定期 IRB 開催)、IRB 申請から通過まで平均 3 週間

## 4 計画

(ア) 日程

平成 27 年 11 月 6 日 参加者募集締切

12 月 (日程は参加者にて調整) TV 会議システムを利用した事前研修

平成 28 年 1 月 11 日 (月・祝) ~ 12 日 (火) 2 日間での訪問

11 日 8:30 福岡空港集合、施設へは 15:00 前後に到着

院内・臨床研究センターの見学、ディスカッション

内容詳細については計画中： 一般的な施設見学 (病院・生命科学研究所)、受け入れ担当者の所属科 (胃・肝・GIST) および乳腺科の見学およびスタッフとのミーティングを予定。

その他、日韓の診療事情の差異等についての議論。

12 日 11:30 頃 研修終了、19:55 福岡空港着

帰国後、参加者にて研修報告書を作成する。

(イ) 募集人員

大学院生 4-5 名 (医師、CRC を目指す看護師・薬剤師)、教員 4-5 名

計 8-10 名程度を募集するが、希望者数に応じて先方も受け入れ体制を検討可能のため、調整を行う。

(ウ) 費用負担

参加各大学が負担する。各大学のがんプロ予算からの支出は可能。

旅行保険・食費は個人負担となる。

(エ) 手続き等

海外訪問研修に必要な事務手続きは各大学にて行う。

ただし、福岡←→韓国間の交通、韓国での宿泊の手配は九大・九州連携臨床腫瘍学講座で一括して行う。

(オ) 計画の進捗状況

現在、Kang 先生および実務担当者の Min-Hee Ryu 先生と研修プログラムについて協議中である。